

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ノアと大こうずい

ぶん

文: Edward Hughes

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

え

絵: Byron Unger; Lazarus

しゅつばんしゃ

出版社: Bob Davies; Tammy S.

60話の第3話

www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

きょうり

たにん

う

かぞ

はなし

また

きょうり

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese

ノアは、神さまが大好きで、いつも賛美している人でした。でもね、ほかのみんなは、
 賛美などすっかりいやになり、神さまにした
 がいませんでした。ある日、神さまは、みんながひどくショックをうけるようなことを、
 言われました。「この
 世界はこんな
 にも悪くなっ
 てしまった。ひとつのこらず
 ほろぼしてしまおう！」
 そして、ノアに
 こう言われました。
 「ノア、あなたのかぞくだは、
 助けてあげよう。」

1

神さまは、ノアにやがて大こうずいがやってくることを、そしてそ
 の大こうずいは、すっぽりとこの地すべてをおおってしまうこ
 とを、しらせました。「ノア、大きなはこ舟を、つくりなさい。
 あなたのかぞくと たくさんの動物たちみんなが入れるようなはこ舟をね。
 」神さまは、ノアにこう命じられ、どのようにはこ舟をつくるか、ひとつひとつ
 ていねいにおしえてくださいま
 した。さあ、ノアは、
 いそがしくなりまし
 たよ。

2



ノアは、まわりの人たちに、どうしてこんなに大きなはこ舟をつくっているのか、おしえてあげました。でも、たぶんみんなは、ノアをばかにして笑ったでしょうね。

ノアは、もくもくと、はこ舟をつくりつづけました。そしてみんなに、神さまのことを、いっつづけました。でもね、だれも聞こうとはしませんでした。

3



ノアは、心のそこから神さまを信じていました。たとえ今まで、ここに一てきの雨もふったことがなかったとしても、やっぱりノアは神さまの言われたことを信じたでしょう。まもなくはこ舟は、

いろいろなものを積みこむためのじゆんびが、すっかりとできあがりました。

4



さあ、動物たちがやってきました。神さまは、いくつかのしゅるいの動物から、おすとめすと七くみ、またそのほかのしゅるいからも二くみ、つれてこられました。大きな鳥やかわいい小鳥さんも、ちっちゃい動物さんからのつぼ

の動物まで、みんなそろつ

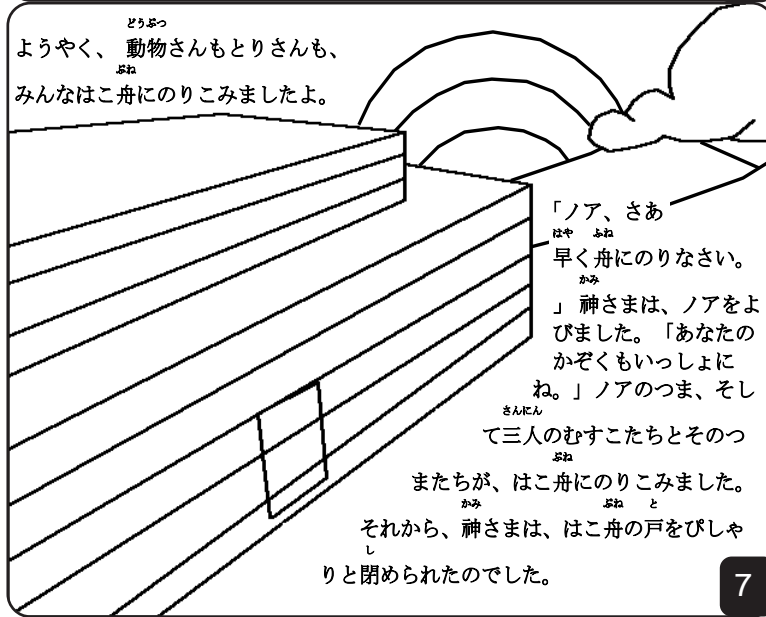
てはこ舟へやってきましたよ。

5



人々は、ノアが動物たちをはこ舟にのせているのを見て、あざけり笑ったのでしょね。みんなは、神さまにしたがわなくて、罪をおかしてばかりいました。それにみんなは、ノアにはこ舟に入れてくださいって、たのみませんでした。

6



ようやく、動物さんもとりさんも、みんなはこ舟にのりこみましたよ。

「ノア、さあ早く舟にのりなさい。」神さまは、ノアをよびました。「あなたのかぞくもいっしょにね。」ノアのつま、そして三人のむすこたちとそのつ

またちが、はこ舟にのりこみました。それから、神さまは、はこ舟の戸をびしゃりと閉められたのでした。

7



いよいよ、雨がふり

はじめましたよ。どしゃぶりの雨です。四十日のあいだ、まいにちまいにち、昼も夜もふりつづけたのです。なに

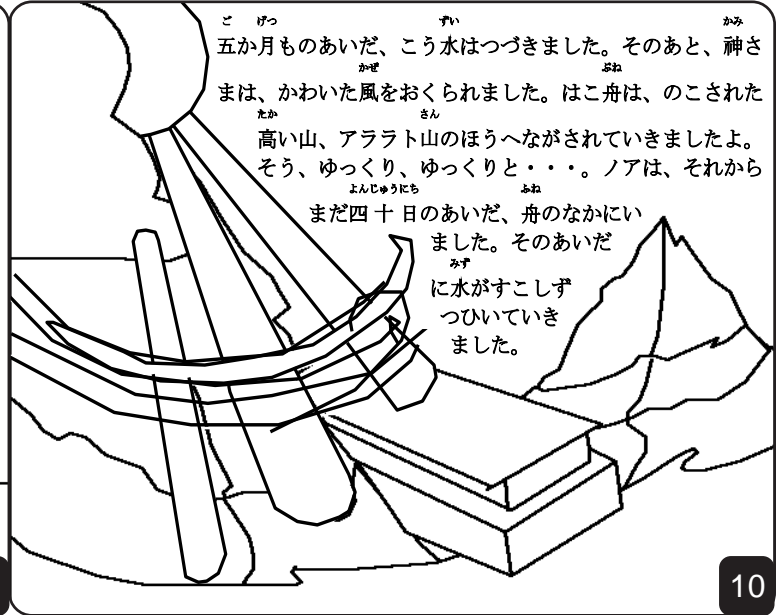
もかも水びたし……。大こうずいは、町にも村にもあふれました。雨がやんだとき……。あれっ、高くそびえていた山も、水の下にかくれてしまいましたよ。生きていたものは、みんななくなってしまいました。

8



みず
水がどんどんあふれてくると、
はこ舟は、水の上にぼっかりと
うかびました。はこ舟の中は、
くらかったでしょうね。がたが
たゆれたでしょうね。そしてみ
んなこわかったかもしれません
ね。でも、はこ舟は、ノアを大
こうずいからまもってくれたん
ですよ。

9



ごげつ
五か月ものあいだ、こう水はつづきました。そのあと、神さ
まは、かわいた風をおくれました。はこ舟は、のこされた
高い山、アララト山のほうへながされていきましたよ。
そう、ゆっくり、ゆっくりと……。ノアは、それから
まだ四十日のあいだ、舟のなかにい
ました。そのあいだ
に水がすこしずつひいていき
ました。

10



ふね
ノアは、舟のまどをあけ、カラスとハ
トをはなしてやりました。でもね、と
まることができるようなかわいたきれ
いなところが見つからなかったの
で、ハトは、ノアのところにもどって
きました。」
一週間して、ノアはもういちどハト
をはなしてやりました。すると、どう
でしょう。ハトは、あたらしいオリ
ーブのはっぱを口にくわえてもど
ってきましたよ。そして次の週、ノ
アはこの地がかわいていることが、
わかったのです。なぜってね、こ
んどは、ハトがもどってこなか
ったんですもの。

11



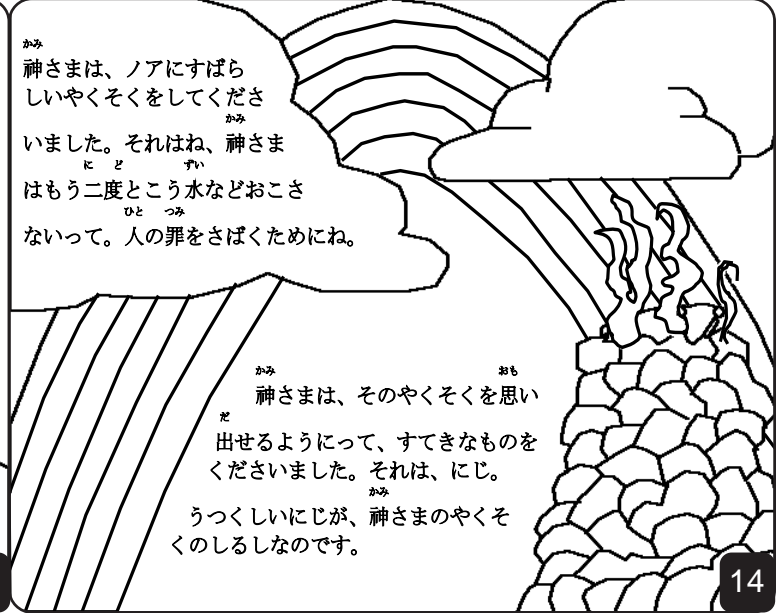
かみ
神さまは、ノアに言われました。「さあ、そろそろはこ舟からでてごらん。」
ノアもノアのかぞくもいっしょになって、どうぶつたちをはこ
舟からおろしてあげました。

12



ノアは、なんてうれしかった
ことでしょう。ノアは祭だん
をつくり、「神さま、ありが
とうございます。」って、
礼拝しました。神さまが、ノ
アもかぞくも、おそろしいあ
らしから、すくってくださいた
のですから。

13



かみ
神さまは、ノアにすばら
しいやくそくをしてくださ
いました。それはね、神さま
はもう二度とこう水などおこさ
ないって。人の罪をさばくためにね。

かみ
神さまは、そのやくそくを思い
だせるようにって、すてきなものを
くださいました。それは、にじ。
うつくしいにじが、神さまのやくそ
くのしるしなのです。

14

だい
大こうずい^{だい}のあと、ノアや
ノアのかぞく^{かぞく}たちは、すべ
てのことを、はじめからあたらしくやりはじめま
した。そのうちに、この地ぜんぶ^ちノアたちのし
そんでいっぱいになりました。世界中^{せかいじゅう}のいろ
んな国^{くに}の人々はみんな、ノアとその
こども^{こども}ら
子供^{こども}から生まれてきた
のですよ。



15

ノアと大こうずい

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 6 章 - 10 章

み ひら ひかゆ あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。
しへん
詩篇 119:130

